

緑井自主防災会が講演会を開催 正確な情報集め、早めの避難を!!

梅雨入りを前にした6月1日(土)の午後、緑井5地区の自主防災会の会員を対象にした防災講演会が安佐南消防署講堂で開催されました。区役所、消防署の協力のもと、緑井小学校区自主防災会連合会が主催。講師は、気象予報士・防災士でテレビのお天気キャスターなどを務めていた玖保陽子さん。講演のテーマは「『知識+判断=行動』で自然災害をええがいによけようや」。当日参加者は70人で、広島弁で防災・気象情報の見方をわかりやすく解説する玖保さんの話に熱心に聞き入っていました。当日の講演内容の一部を紹介します。

防災情報を早く入手

「広島西部は多雨地域」

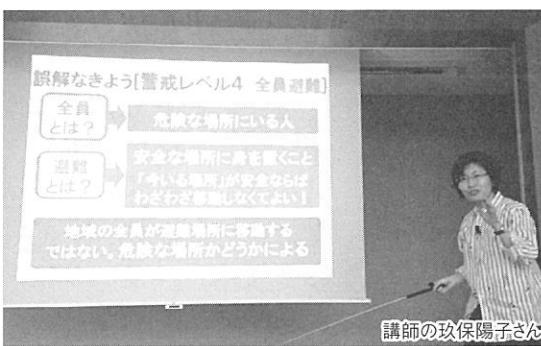
「広島県は瀬戸内海気候で温暖で雨が少ない」と考へている人が多いが、実際は広島県の西部は多雨な地域であると認識してほしい。5年前と昨年の大規模土砂災害の教訓として、災害から命を守るには、何よりも災害が起こる前の防災、つまり災害が起るかもしないと考え方を収集し早めに避難することが大切です。

ハード対策を過信しない

避難場所も、土砂災害と洪水浸水では当然危険な場所、安全な場所が違う。そのためハザードマップでの確認や過去の災害事例を知つておくことが必要です。行政が指定する避難場所だけにとらわれる必要はない、自分が行きやすい安全な場所を柔軟に選ぶべきです。5年前の災害後、緑井や梅林地区で大規模な砂防ダムの建設が進んでいるが、想定以上のことが起きるので、こうしたハード対策を過信しないことが大事。まずは安全な場所に逃げることが一番です。防災情報をいち早く入手し、時間が余裕を持つて避難を開始することが大事で、遅くとも避難勧告が出た時点では、危険個所逃げ遅れないためには、気象情報をいち早く入手し、時

気象庁の紫色は危険

気象庁から出される情報は、目で見てすぐ危険度が分かることで見て「濃い紫色」「薄い紫色」非常に危険(この色が出たら危険ではない)」「薄い紫色」非常に危険(この色が出たら危険ではない)」など改めて浸水したときに想定される状況を、各自が認識をしながらの避難訓練でした。公民館に到着後は、携帯ラジオや笛など参加品が配布され、危機管理室や佐東消防署から講師による地震時への備えなどの講演や防災備品展示、煙による室内移動体験など、毎年実施される避難訓練の内容は確実にレベルアップしてきています。



八敷地区(緑井七丁目=梅林小学校区を含む)自主防災会避難訓練を実施

6月16日、八敷地区内各班毎に予め定められた集合場所を9:00に出発し、地震発生をした事を想定し避難場所である佐東公民館へ、班ごとにリーダーが先導する避難訓練が実施されました。途中今回新たに設置された伊勢湾台風時水位銘板等を確認し、「ここまで浸水したのか」など改めて浸水したときに想定される状況を、各自が認識をしながらの避難訓練でした。公民館に到着後は、携帯ラジオや笛など参加品が配布され、危機管理室や佐東消防署から講師による地震時への備えなどの講演や防災備品展示、煙による室内移動体験など、毎年実施される避難訓練の内容は確実にレベルアップしてきています。



～緑井中組町内会 サロン 開設～

これまで中組町内会では「一人暮らし食事会」の名称で、年に1回町内の人々を招待し、演芸や食事会を開催して楽しんでいました。しかしながら、参加者の高齢化等により年々減少する傾向にあり、この度新たに、交流の場として、また出会い等の機会つくり、家に閉じこもりがちな方々にも楽しんでいただく気軽なふれあいの場として、「中組サロン」の名称で立ち上げました。

現代は放っておけば近隣との面識もなく、話すことも少なくなるご時勢です。中組町内会の方々是非積極的にサロンへ参加してみてください。そして他の地区でも同様のサロンが展開されることを期待しております。

過日、第1回として4月17日にオープン。ピアノに合わせて歌を歌ったり、看護師さんによる血圧測定、地域包括センターの相談コーナー、囲碁、麻雀グループ等お茶を飲みながら楽しんでいただきました。今後、毎月第3週水曜日 中組会館で13:00~16:00まで開設しています。関心をお寄せいただき少しの時間でも覗いてみてください。お待ちしています。(いきいきポイントの対象になります)

連絡先 サロン代表 田中和子 (082-877-2022)



盆踊り大会 開催

日時 8月3日(土)
18:00~ 昔の遊び
19:30~ 盆踊り
場所 緑井小学校 校庭
(雨天時は体育館にて)



恒例の お楽しみ抽選会もあるよ!!

安佐南区社会福祉協議会の区合同研修会に推進委員の一員として、愛媛県の「サロン小野」を視察してきました。サロンは、空き店舗を活用されており、社協事務局と併設されて15年が経過しています。空き店舗といえど家賃は10万円・光熱費6万円と思いつか高額でした。その資金源としては、コーヒー・カレーライス・手づくり品の陳列展示販売や、若者向けのキッズコーナー等を常設して、収益を上げている関係で経営は順調のことでした。これらの運営は、女性事務局長を筆頭に女性ファーストに合わせ、児童協、青少年協も同居して、サロンがまさに多彩な情報交換の場所となつており、地域や組織間で発生する問題解決も速やかな対応ができるところが特徴となつてゐるそうです。私たちの、緑井学区社協も拠点が緑井駅前サロン内となり、こちらもまさに要衝の場として、同様の形態であり、敗けてはいない気がしました。事務局体制も一新したこの機に、各団体の横の繋がりをより一層盛り上げて、住民ファーストの対応を図らねばならないと心を新たにしてい



日程 平成31年3月1日(金)~2日(土)
視察先 ふれあいサロン小野(小野地区社会福祉協議会)
所在地 愛媛県松山市水泥町972の1

地域福祉推進委員研修会参加報告
今村 隆太郎